

令和6年度第1回健康計画推進委員会会議録

日時	令和6年8月8日 13時30分～15時10分
場所	大栄農村環境改善センター 会議室3
出席者	<p><委員>(敬称略)</p> <p>仲、荒川、大坂、村岡、浜根、田村、加藤、平信、藤友、竹原、荒木、坂本(欠席4名)</p> <p><事務局>前田課長、塚本、前田日</p>
<p>レジメに沿って進行。</p> <p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ 健康推進課 前田課長</p> <p>3. 自己紹介</p> <p>4. 委員長、副委員長の選任(P1～2)</p> <p>立候補なく、事務局より推薦。</p> <p>委員長：浜根二三雄氏(自治会長会代表)</p> <p>副委員長：竹原光余氏(食生活改善推進員連絡協議会)は継続</p> <p>5. 協議および報告</p> <p>(1)特定健診及び各種がん検診の受診率の推移(P3～4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団健診では、スムーズな運営とコロナ対策を講じながら実施。感染対策のため、1回あたりの受診者数が制限されるため、開催回数を増加して実施。 ・コロナ禍以前と比較すると、特定健診、大腸がん以外は受診率が低下しているため、勧奨等声かけを継続していく。 ・集団健診は、夏場や午後の検診の受診者数が伸びない。受診勧奨の実施について通知や電話等、様々な方法で実施した。 <p>(2)健康計画6つの項目に対する行政の取り組み(P5～6)</p> <p>①運動習慣の定着</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北栄スポーツクラブと連携し、運動教室を開催。参加しやすいよう休日や夜間の日程でも開催した。教室終了後、11回分の回数券を配布し、使用状況を確認し、未使用の場合は利用勧奨。 <p>②健全な食生活の定着</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学6年生の「弁当の日」は今年度の6年生で終了する。 ・食べ方講座を実施してきたが、新規の参加者の獲得につながらず終了。R6年度は一部内容を新規事業「健診結果活用教室」に継続する。(P10) ・ポイントラリー事業の自主的な取り組みに「食事チャレンジ」を追加。 ・R6 食生活改善推進員養成講座を開催予定。13名申込みあり。 <p>③心の健康づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R5年度は民生委員を対象に「ゲートキーパー研修」を実施。R6年度は食生活改善推進員養成講座で実施予定。 <p>④歯と口の健康づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊婦、ふしめ歯科検診を継続して実施。セット健診時には歯科衛生士の個別歯科相談を行い、お口の健 	

康に関心を高める機会としている。

・高齢者医療歯科検診(口腔検診)について町報などで広報した。R6年度は「保健事業と介護予防の一体的実施」として個別勧奨や啓発に取り組んでいる。

・R6年度、ポイントラリー事業の自主的活動として「オーラルケア」も追加。

⑤喫煙・飲酒対策

・母子健康手帳交付時、乳幼児健診等、機会を捉えて禁煙、受動喫煙防止について啓発。

・飲酒については、小学6年生を対象に、医師による生活習慣病予防講演会でアルコール依存症について学習。講演会の様子はYouTubeで限定公開し保護者へも啓発した。R6年度は、保護者参観日に講演会を実施するため動画配信は行わない。

⑥生活習慣病の早期発見・早期治療

・午後の開催、健診前に受付時間の通知の送付など、健診を受けやすい環境整備に引き続き努めた。

・R6年度はフルセット健診を年2回開催し、同日にセット健診の内容と女性のがん検診を受診できる。

・R6年度から健診の方法を変更している。(P11)いつでも受診しやすいように、意向調べを取りやめ、健診の対象者全員に受診券を送付する事とした。予約方法にWEB予約を追加し、24時間予約可能とした。大腸がん検診は、他の健(検)診も同時に受診してもらえるように他の検診と同じ取り扱いとした。

・「保健事業と介護予防の一体的実施事業」はR5年度の新規事業。75歳以上について、保健事業は健康推進課、介護予防は福祉課で担当していたが、令和元年度に、健康保険法等の改正がされ開始。今年度から県内全ての市町村が実施。事業内容はフレイルを防ぐ。取り組みは町の健康課題に合わせて実施。個別的支援(ハイリスクアプローチ)と通いの場等への積極的な関与等(ポピュレーションアプローチ)を実施。R6年度は、ポピュレーションアプローチでは、いきいきサロンに加え、社協の健康体操教室、北栄スポーツクラブの健康運動教室にも保健師・栄養士が出むく予定。

<意見等>

○大腸がん検診で精密検査の対象となり、情報を得たくてネットで検索したところ鳥取市がYouTubeで健康講座「優しい大腸がん」が配信されていた。TCCは見逃すと、その後観ることができない。

YouTubeなら何度でも繰り返しみれるため、全町民困っているなどという事があればYouTube配信してもらえると健康講座にいけなくても情報が得られるので参考にしてもらいたい。

→配信するための編集作業が必要なので、検討したい。また、同じような内容を配信するのではなく、北栄町の方の役に立つ内容で検討したい。

○大腸がん検診の方法の変更について、受診率の低下を考えなかったか。検体を回収場所に個人が持って行く事になり健康推進員の仕事がなくなってしまうように思うが、健康推進員はこれまで通り設置されるのか。検体回収の時間は何時か。

→受診率の低下は懸念している。大腸がん検診の受診率も維持したいが、他の検診の受診をされていない方も多く、方法の変更で他のがん検診の受診につながる事を期待して変更した。健康推進委員さんには、大腸がん検診の実施や受診率維持に貢献していただき感謝している。R6年度は健診受診勧奨の実施という事でポスターの掲示、地区の放送、講座での呼びかけをお願いしている。また、がん制圧大会の参加、健康講座の開催をお願いしている。大腸がん検診の検体の回収時間は前日18時から回収日の9時まで15時間回収をしている。

○地域で助け合う、共助が力が薄れていっていると思う。医療機関には何かあった時にしか行かない方も

多い。地域の中で助け合う、交通機関の問題、家族の関係性など、地域で助け合う事で受けれていた方もあると思う。大腸がん検診の方法を変更した事で、検診の形はよいが、地域のつながりが薄くなってしまおう。地域の人と人が助け合う和のような物もつくりあげてほしい。

→様々な意見をもらっている。町民の方に変更内容の浸透が十分ではないと感じ、急遽、町報へ掲載した。これからが大腸がん検診の時期なので周知していく必要がある。受診率は低下すると覚悟している。もう一步何ができるか検討していきたい。

○健康推進員の方は、負担に感じられてはないと思う。元に戻る事があっても大丈夫だと個人的には思う。周知については、これまで大腸がん検診の前後だけだったように思うが、今後は自治会の中で、集団健診の前には必ずするとか、予約していない検診があれば予約しましょうといった放送をしてもいいと思う。

○地域の人が顔を合わせる場所がなくなっている。顔を合わせて話をする事は心の健康にとっても大切。独居の方の様子がわからなくなる事も困る。今年度やってみて、推移をみたり、出てきた課題について対して方法を検討してもらえたら。

→色々ないただいた意見を参考に、できる事から取り組んでいく。共助の力を大切にしておられる事がよくわかった。健康推進員さんや自治会のお世話役の皆さんの力を得られるのであれば、大腸がん検診だけでなく、他の検診の受診にも一緒につなげていけるような流れや取り組みについて、今後も意見をいただきたい。

○子宮がん、乳がんの受診率の母数は女性だけか？職場で受ける検診の結果の把握はされているか。

→子宮がん、乳がんの受診率の母数は女性だけ。職場で受ける検診の結果は把握していない。意向調べを中止し職場で受診する意向も確認していない。

○大腸がん検診以外の受診率が低いのでどうやったらあげれるかなと思った。

→目標に到達していない。全てのものについて、受診率あげたいと思っているの、対策を考え実施していく。

(3)各組織、団体の今後の取り組み

①北栄スポーツクラブ

- ・高齢者対象の健康運動教室を週3回実施。健康推進課と連携して運動教室を実施。R5年度はバランスボールと水中ウォークを実施。R6年度はバランスボールとノルディックウォークを各2回実施予定。
- ・B&Gのトレーニングマシーンを更新する。北栄町は若い方の運動習慣が少ないため活用してもらえたら。

②大栄小学校

- ・全国歯磨き大会という教材を小学5年生に使用。DVD教材でデンタルフロスの使い方、歯周病の事などを学んだ。小学4年生に歯の染め出しを行う予定。フッ化物洗口も実施。
- ・むし歯の治療率が低いのでR6年度は60%を目標に取り組みたい。

③大栄小PTA

- ・むし歯の治療率が低いことが課題と聞いたため、仲歯科医院の仲先生を講師に招き、むし歯予防やフロスの使い方について親子で学んだ。
- ・姿勢が悪い、投力が低いという課題もあるため、今後運動療法士さんなどを招き、親子で学ぶことを計画している。

④大谷こども園（事務局代読）

・毎日体力づくりでマラソンや体操に取り組んでいる。熱中症予防として室温や湿度の確認、プールの水温の確認を行っている。

⑤自治会長会

・地域の中で健診の声かけなどを行っている。

⑥老人クラブ

・老人クラブは19 単組ある。老人クラブに入りたいが、入ると忙しくなるとか人のお世話が大変という事でやめてしまう方もあり苦慮している。人とのつながりを活性化させたい。

・広報誌に健康に関する記事を掲載したり、健康講座の開催をしている。

⑦健康推進員

・大腸がん検診や健康講座を開催するにあたり、タイミングを考えて放送を行ったり、公民館に掲示を行い、周知がいきわたるよう工夫している。

・健康講座については、参加者の年代が広がるようにとまちの保健室を開催した。まちの保健室では個別相談があり満足度が高かった。健活教室を自治会でできるといいと思う。

⑧JA鳥取中央大栄支所

・年に1回健康診断を行っている。人間ドックは正職員と再雇用の職員を対象に助成を行っている。農業者で希望があった方に人間ドックの助成を行っている。

・心の健康も含めて健康相談を年に1回行っている。

・レクリエーション大会を年1回実施。

⑨北栄町商工会女性部

・商工会に入会しても女性部に入る方が少なくなっている。R5年度は、商売をしているのでいつも笑顔でいられるように、フェイシャルヨガを行った。好評で今年度も2回実施。

⑩食生活改善推進員

・運営委員会を年2回実施。こども料理はボランティアの減少により年4回に減少した。

・今年養成講座が開催されるので、推進員が増える事を期待している。

⑪住民代表

・地域の方の声をひろい伝える。

・食事が一番健康につながっていると感じるため、今後も食事と運動に気をつけていきたい。

⑫仲歯科医師

・健康のために大切な事は、食事・運動・社会参加・オーラルフレイル

・大腸がん検診の方法が変更になった。国自体DX化もすすみ、対面での活動が減っている。健康講座も動画配信もいいが対面で行う方がよい。

・オーラルフレイルについて、国は国民皆歯科検診を呼びかけており、子どもの健診、ふしめ歯科、高齢者の健診がある。口の健康が全身の健康につながっている。特に歯周病は糖尿病、心疾患、呼吸疾患、早産・低出生体重児、認知症につながっている。オーラルフレイルについても知り、予防を実践してほしい。

・今後も、この推進委員会で、北栄町をよりよくしてほしい。

6. その他 次回日程 11月頃を予定